

ご協力ありがとうございます！

【1月の寄付品】(敬称略)馬場雄治、鈴木哲夫、久保田栄子
ハートフィールドさかもと、村松明、森田章、ニンジン、ザグダ
ワンナ、永石、浅野奈々穂、横田菜子、脇山保育園
萬代保男、清水利春

農業研修風景

センター場内にある育苗ハウスには、今年栽培するトマトや
ミニトマトの苗がすくすくと生育しており、現在 4 センチ程度に
成長し本葉も 2 枚展開しています。トマトが成長するためには
15～20 度程度の温度が必要で、夜間は 12 度以上になるよう
に電熱線をつけ、日中には 30 度ぐらいまでハウス内の温度を
上げて管理をしていきます。毎日何度もハウスをのぞき、適正
な温度が保たれているか確認するのですが、その時にハウス
の中に置かれている毛布の上に、だいたいセンターの飼猫
である「ビンビン」が、気持ちよさそうに寝ているのです。どこか
ら入ってくるのかわからないのですが、この広いセンターの場
内の中で、一番温かいところがこの育苗ハウスの中であることを、
この猫は知っているのです。まだまだ寒い日が続きます
が、これからオイスカの育苗ハウスではたくさんの野菜の苗が
育っていきます。(豊田)



マレーシアの
家政課研修生
ウスさんが
「ビンビン」と
名付けました。

2月の予定

- 13 日 早良高校ボランティア(14 日まで)
- 18 日 生松台ふれあい市
- 19 日 チャリティゴルフコンペ



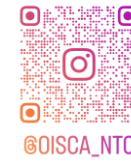
1 月 31 日～2 月 5 日まで福岡市役所 1 階多目的スペースで
「フクネット紹介パネル展」にオイスカが参加しております！

※まるごと西日本 11 月号に掲載しました、金網ネットご寄贈
の企業名に誤りがありましたのでお詫びいたします。
正しくは筑豊金網工業株式会社 です。

鬼本大明神 今月の一句

この世のすべての生き物と同じように、我々も
必ず新陳代謝をするもので老人(高齢者)は
必ず代謝される側に立たされるものだ。老人
(高齢者)は次の世代の人に入れ替わってま
うという謙虚な気持ちで生き続けなければなら
ない。縁の下の方持ちに徹せよ！自分のでき
ることを控え目に！老人(高齢者)の自慢は聞
くに耐えない！いつまでも実権に執着するのは
見苦しい！早め早めに次の世代の人にすべて
を譲り渡せ！この世の阻害要因邪魔者老害
になるな！一日も早く「次の世代の人のこの
世」にするのだ！そして老人(高齢者)自身は心
身を鍛え「医者要らずの老体造り」のみに全力
傾注するのだ！

まるごと!西日本



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscanto@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

2023 年 2 月号

第3回オイスカ支援連携サミット開催

1 月 27 日(金)～28 日(土)にかけて、今回で 3 回目となるオイスカ支援連携サミットが西日
本研修センターで開催されました。このサミットの開催につきましては、3 年前にオイスカ愛知
県支部の会長さんからの提案で、オイスカの国内研修センターと各県支部が連携を深めて、
より充実した研修センターの運営が出来ることを目的として実施されたものでした。サミット当
日は、国内各研修センターの所長、オイスカ西日本支部瓜生会長はじめ各県支部の会長も出
席され、今回のテーマである「オイスカ OB・OG との連携強化」を中心に討議が行われ、東京
本部が打ち出している「広域アジア・太平洋戦略パートナーシップ構想」の推進に対し、OB・
OG 研修生のネットワークを更に活かしていくことが重要となることを再認識しました。



今日まで 5000 名を超える訪日 OB 研修生を輩出し、海外の現地プロジェクトを卒業した OB を含めればその数は約
37,000 人を超えるということで、オイスカが長年にわたり築いてきた財産を更に活用しながら、世界が抱えている課題
解決に向けて取り組んでいくための大きな 1 歩を踏み出すことが出来ました。

2 日目の午後からは、センターホールにて好事例発表会「日本で学んだ海外研修生のSDGsへの貢献」というテーマ
で、OB研修生 2 名の活動報告会が行われました。当日は地元脇山地区の皆さんをはじめオイスカ会員の方々など
150 名を超える方に参加していただき盛大に会を催すことが出来ました。当日披露された OB 研修生2名の発表に関
する内容については、OB 研修生活動紹介のコーナーにて紹介させていただきますが、参加された方からは「活動報
告の内容が素晴らしかった。自分ももっとオイスカの活動に貢献したい」という意見が聞かれました。

2 日間にわたって開催された、今回のサミット・活動報告会をきっかけとして、更にOB・OG研修生との連携強化をは
かりながら、世界各国におけるオイスカ活動の推進、ふるさとづくりへの貢献につなげていきたいと思ひます。(豊田)

日本語のようす

12 月 4 日に行われた日本語能力試験の結果がネットで公表されました。

農業研修生 7 名は、N4 受験者 3 名のうち 1 名が合格、N5 受験者 4 名は全員
合格しました。合格した研修生は喜びを噛みしめ、合格できなかった研修生は、
悔しさに涙を流していました。どちらも結果を受け入れて、その気持ちをバネにし
て今後の人生に生かしてほしいと思ひます。残すところ2か月弱の本研修で、身
につけた日本語を活かして、外部研修、アクションプラン作成に臨みます。



技能実習生 6 名(インドネシア)は、11 月 28 日に入所し、2 ヶ月の講習を終え
ました。すでに配属先での仕事、日本での自立した生活が始まっています。2 ヶ
月という短い期間でしたが、初めての外国生活をした場所がセンターで、たく
さんの思い出もできたようで、退所時には涙する実習生もいました。新生活への
不安もあると思ひますが、センターでの出会いや思い出が力になってくれると思
ひます。寒さに負けず、がんばれ！研修生！実習生！（立石考子）



ほんげんきょう参加

2023 年、新年を迎えた 1 月 8 日早朝、毎年恒例の「ほう
げんきょう」(どんとやき)行事がセンター近くの脇山中央公
園で行われました。ほうげんきょうの意味は、今年 1 年の無
病息災を願い、また新年用の各家庭のしめ飾りや書初めを
燃やし、その熱を身体にあびることにより、今年一年を安心
安全に過ごせるようにとの思いをこめる行事です。当日は研
修生をはじめ、地元からも多くの方が参加され、高さ 3 メー
トル以上に組み上げられた竹や木が燃え上がる様子に研修
生も初めての体験で喜んでました。研修も残すところ 2 か月
となりますが、日本での色んな文化、風習を理解するいい機
会となりました。今年もみんな頑張りましょう。(廣瀬)



体験農園だより

早くも 2023 年が 1 か月経ちました。参加者の皆様は、秋冬野菜の収穫をだいぶ終えたようです。キャベツやブロッコリー
などはこれから脇芽が伸びて、まだ何度か楽しめるかと思ひますので、余すところなく楽しんでご収穫いただきたと思ひ
ます。R4 年度秋冬作後期は残り 1 か月。2 月には来期に向けた準備も進めます。来期もよろしくお願ひいたします。(飯川)

OB の紹介 今回紹介する OB 研修生は、1 月 28 日に開催した「OB 研修生活動報告」のために招聘した、カンボジアのワンナとモンゴルのザグダについて、今回彼らが発表した内容をまとめて紹介したいと思います。まず、はじめに紹介するのはカンボジアのワンナさんです。ワンナさんは、2008～2009 年の研修生で、帰国後様々な仕事をする中で、自主的にオイスカの「子どもの森計画」をスタートし、カンボジア在住の OB 研修生を巻き込みながら、現在では 60 校を超える小学校で植林活動を推進しています。



カンボジアのワンナさん

カンボジア帰国後の活動
Activities since returning to Cambodia

2009	2009-2012	2012-2014
オイスカ、CFP発足 OISCA, CFP inauguration	Program Manager with BSDA	Program Coordinator with JICA
Area: Kampong Cham Province	Area: Kampong Cham Province	Area: Kampong Cham Province
2014-2016	2016-2019	2019-Present
Senior Officer with FORTE Insurance company	Farm Coordinator with Cashew nut Farm	Small Biz Owner
Area: Battambang Province	Area: Kampong Thom Province	Area: Prey Veng Province



- ① 帰国してから、現地 NGO や JICA のプロジェクトなどで、様々な社会貢献の活動を行ってきました。

Encouragement by many visitors, OISCA-
Metropolitan Branch visited twice times



- ③オイスカの活動は「子どもの森計画」を中心に、他の OB 研修生と一緒に取り組んでいます。

Achievements 実績 ... Own biz (2019-Present)
1st Branch, NEAK LOEUNG Area, Prey Veng Province



- ②現在はコンクリートの会社を経営しています。

CFPの結果 Result of CFP 2022

Area cover	Number of Planted trees	Number of School/Pagoda/commu nity area	Number of Coordinators
25ha	18,530trees	61	3

活動中の困難 Difficulties during the activities

CFP activities	Small Business Owner
- N/A	- Covid-19 pandemic - Struggling with customers don't pay the bill

- ④「子どもの森計画」の活動は、61 の学校で 18,530 本の植林を実施しました。

～会 員 様 紹 介 ～ 味岡建設株式会社(熊本県推進協議会)

オイスカに入会したきっかけ 建設業を営んでいる中で、地域に於ける会社の存在意義、社員さん達のモチベーションがどこにあるのか？やらされボランティアではなく、本当のボランティアとは？色々と考えあぐねている時に、熊本の丸光グループの山田会長からオイスカの理念や活動を聞き、中長期的な目標をオイスカの中に見出せる事が出来ました。「公共工事は悪」と言われた時代でもあり、自分達の生業が将来の日本の役に立つ事業で有る事に誇りを持ち、グローバルな人材育成・環境保全活動に貢献したいと思って入会致しました。

オイスカへのメッセージ 今後の活動を通じて、自給自足率の低い日本から、価値ある農産物を求め、発展途上国にも、その価値を教示し、広め、繁栄に貢献したいと思います。

会社紹介 味岡建設企業グループは、建設業本体を核として、建設関連の生コン・砂利・碎石等を始めとして、自動車関連の石油・整備工場・自動車学校・レンタカー等を運営している地域密着型の総合建設業です。

どこの部門でも、お客様第一を目標に、色んなサービスを提供出来るように、押し売りではなく、お客様の満足に答える接客を目指しております。

本 社

〒868-0592 熊本県球磨郡多良木町大字多良木144番地1

代表取締役社長 味岡俊彦 社員数 250名(令和5年1月現在)

グループ紹介

味岡建設株式会社、味岡生コンクリート株式会社、山江碎石鉱業株式会社、味岡商事株式会社、味岡石油株式会社、味岡自動車株式会社、株式会社多良木自動車学園、株式会社味岡マネジメントサービス、株式会社社章レンタカー



続きまして、モンゴルのザグダさんです。ザグダさんは 2016～2017 年の研修生で、モンゴルに帰国してから南ゴビ県にあるビニールハウスの施設で、スイカやトマト、イチゴなどの栽培を手掛け、地元の州知事さんからも高い評価を得ており、現在は農業の先生として大変活躍をしています。



- ① モンゴルは非常に厳しい環境の中で、畜産や農業をしています。



モンゴルのザグダさん



- ② 南ゴビ県で栽培している野菜です。スイカやメロンなどよくできます。



- ③ その他にもイチゴやプラムなど果樹の栽培も行っています。

今後の計画

- ゴビ砂漠でOISCAの育苗所を作る
- 現在活躍している南ゴビアグロパークをマネジメント契約で管理する
- シイタケ栽培する
- ゴビ砂漠初のお米を作る



- ④ 今後の計画は、木の苗やハウス栽培、シイタケやお米の栽培にもチャレンジしたいです。



当日は 150 名を超える方に参加していただきました。

中部日本研修センターのレニさん

1 月下旬から中部日本研修センターのレニさん(フィリピン出身)が西日本センターで短期研修を受けています。レニさんは農業指導員として中部日本研修センターに勤務しており、今年の 4 月で 6 年目になるそうです。「今回はトマトの接ぎ木を勉強するために来ましたが、豊田副所長からの講義も受けられて知らなかったことをいろいろ勉強できています。2 月中旬ごろまでと短いですがよろしくお願いします。」と話していました。



レニさん



トマトの接ぎ木